

三一五五番

蘆城山あしきやま 木末こぬれことごと 明日あすよりは なびきてあ

りこそ 妹いもがあたり見みむ

三一五六番

鈴鹿川すずかがは 八十瀬やそせ渡りて 誰たが故ゆゑか 夜よ越えに越こえ

む 妻つまもあらなくに

三一五七番

我わ妹子ぎもこに またも近江あふみの 安やすの川かは 安眠やすいも寝ねずに

恋こひ渡わたるかも

三一五八番

旅たびにありて 物ものをそ思おもふ 白波しらなみの 辺へにも沖おきにも

寄よるとはなしに